

管理運営評価シート(令和5年度)

施設名称	イヨボヤ会館・イヨボヤ会館駐車場・イヨボヤ会館 公衆便所・三面川休憩所・村上市鮭公園	評価対象年度	令和 5 年度
指定管理者名	公益財団法人イヨボヤの里開発公社	所管課	農林水産課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	小川 良和

1 令和5年度の実績

(1)事業実績

利用実績	入館者数38,394人(有料36,721人、減免1,673人)
サービス向上の 取組	・来館者へは、親切丁寧に対応するよう心掛け、積極的に「いらっしやいませ。ありがとうございます。」などと声かけを行い、歓迎の意を込めてお迎えした。 ・展示魚の説明は、簡潔な文書で、かつ分かりやすい内容で表示した。 ・ミニふ化場の床の塗装は、汚れやすいことから、年末の休館日に職員で塗装し、きれいな環境を保つようにした。 ・会館前広場の安全確保を兼ねて、車のロータリー誘導ラインを職員で塗装し、会館前広場には、身障者用駐車場2台分以外は、駐車できないようにした。 ・館内での体験できるコーナーを増やすために、ミニふ化場での魚のエサやり体験を、令和5年度から通年実施した。また、「チョウザメにタッチ体験できる」企画を実施するために、ミニふ化場内に手洗い場を設置した。体験や魚の説明等、養魚員が、親切丁寧にわかりやすく説明するよう心掛けた。 ・新たな展示魚として、「パンダウナギ」と「魚沼美雪ます」を導入した。 ・館内の状況等を広報宣伝するために、SNSを利用し、こまめな情報発信を心掛けて実施した。 ・館内の案内・説明を希望される団体等には、職員が説明して対応している。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (3年度)	前年度 (4年度)	当該年度 (5年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	55,545	60,615	56,173	172,333	基本協定額:	297,418	千円
	利用料金	0	0	0	0			
	事業収入	0	0	0	0			
	自主事業収入	498	638	1,528	2,664			
	その他	0	0	0	0			
	収入合計 ①	56,043	61,253	57,701	174,997			
支出	人件費	21,522	21,958	19,504	62,984			
	福利厚生費	3,430	3,512	2,862	9,804			
	事務費	8,585	9,469	7,046	25,100			
	管理費	22,008	25,676	26,761	74,445			
	水道光熱費	7,308	11,651	11,398	30,357			
	修繕料	3,891	2,718	4,910	11,519			
	使用料・リース料	670	905	947	2,522			
	手数料・保険料	789	771	614	2,174			
	委託料	9,350	9,631	8,892	27,873			
	事業費	0	0	0	0			
	自主事業経費	150	277	992	1,419			
	その他	0	0	0	0			
支出合計 ②		55,695	60,892	57,165	173,752			
収支差額(①-②)		348	361	536	1,245			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	△	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	△	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	◎	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題

- ・近年、有料入館者が減少傾向にある。イヨボヤ会館の魅力を高め、有料入館者の増加を図ることが課題である。
- ・本館からミニふ化場への移動には、段差が多く、足の不自由な方には危険な状態となっている。また、車椅子のお客様は、スロープがないため、職員で車椅子を運搬して観覧できるように対応している。修繕工事できない状況にあるのが課題である。
- ・サーモンシアターは、イヨボヤ会館だけでなく、村上市の観光宣伝にもつながる映像であり、わかりやすく表現されている。しかし、内容が古くなっており、新しい映像にする必要があると考えている。
- ・お客様ニーズとしては、体験できる施設等が求められているが、全体的に、展示して見せるだけのものが多い状況になっている。
- ・バックヤードとなる倉庫、展示魚や稚魚等を育てる作業スペースが不足している。
- ・隣接していた民間の売店兼食堂が閉店したことから、旅行者からの誘客促進が難しくなったのが課題である。

(2) 課題解決に向けた取組

- ・課題解決に向けた取り組みとしては、ソフト面でできることを工夫して取り組んだ。
- ・有料入館者の増加策としては、会館の魅力を高めるために、体験や学習ができるように、展示や表示内容を工夫した。また、SNSを利用して、こまめな情報発信を心がけて実施し、誘客促進に努めた。
- ・今年度、初めて実施した取り組みは、「塩引き鮭を持って記念写真を撮る」「チョウザメのタッチ水槽」がある。
- ・スロープ等があるとお客さまも移動しやすいが、改修工事が難しく、現状は、必要に応じて職員が車椅子の方を運んでいる。
- ・サーモンシアターは、プロジェクターが古くなったことから、大型テレビによる動画放映コーナーに改修した。今までは、映画館のような暗さであったが、蛍光灯を設置して明るく鑑賞できるようにした。ただし、映像の内容は、古いままである。
- ・2階部分において、現代的なパソコンゲームやバーチャルリアリティーのようなものがあると魅力は高まると思うが、現状の取り組みとしては、予算の関係もあり、市内マジシャンによるマジックショーなどを不定期に開催し、魅力の創出に取り組んでいる。
- ・館内の整理整頓をして、不要なものは廃棄するなどバックヤードや倉庫の確保に努めているが、限界を感じている。ミニふ化場付近に、展示場を増設していただけると幸いです。現在は、ミニふ化場裏に、仮設の大きなプール(ビニール製の水槽)を一基設置して、魚の飼育場所を増やしている。
- ・民間の売店兼食堂が閉店したことから、自動販売機を2台、本館脇に設置した。

(3) その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

- ・市民からの声としては、何度も入館できる「年間パスポート(料金)」企画を望まれている。類似施設でも年間パスポートは企画されているため、今後導入を図りたい。

②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価

令和5年度は、有料入館者数が昨年度と比較して、少し回復して増加の結果となった。しかし、コロナ禍となる前の時期と比較すると、まだ大幅に減少している状況にある。さらなるサービス向上策を講じるとともに、情報発信と広報宣伝活動を展開し、誘客促進を図って行く必要がある。

また、例年以上に修繕工事等を実施しており、改修・改善を進めることができた。会館前広場のロータリー誘導ラインの設置、ミニふ化場の床面塗装等は、職員が実施し環境改善を図った。今後も日常の施設・設備点検を実施し、良好な維持管理を図りつつ、さらなる工夫改善・サービス向上策を講じて、施設の魅力を高める必要がある。

全体的にみると、協定等の内容どおり業務を履行したところであるが、この状況に満足することなく、さらに高い評価となるよう、日々努力する必要がある。

(2) 施設所管課の評価

業務は概ね計画どおり実施されており、指定管理者として適正に管理、運営されていた。開館40年を目前に修繕も多くなっており、運営に影響を及ぼしている。また、余裕のある職員体制ではなく、他職場からの応援で対応している状況がある。その中で、積極的に新しい魅力づくりに取り組んでおり入館者数は対前年比11%増となった。ただ、伸び率は前回は下回っており、コロナ禍後の旅行気運の回復傾向にあって周遊先に選ばれる工夫が求められる。

(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)

当面はコロナ禍直前の入館者数を超えることを目指し、特徴を生かした集客力のあるイベント及びターゲットに見合った効果的な宣伝を、入館者等の声を積極的に取り込みながら行うこと。また、リピーターを増やすための継続して楽しめる仕掛けを企画していただきたい。今後ますます施設修繕の増えることが見込まれるが、費用対効果を踏まえ効率よく実施すること。